

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
551	健康づくり推進事業		01	01	一般会計
			04	04	衛生費
基本施策	1	10万市民の健康を維持する	01	01	保健衛生費
			01	01	保健衛生総務費
担当部課名	青山支所 健康福祉課		106	106	健康21推進事業
作成者氏名	奥田 充法	連絡先	52-3228	02	健康づくり推進事業

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)				
	(健康の保持増進・食生活の改善)に関心を持つ市民	健康に配慮した食生活が定着する				
本年度事業内容	健康フェスティバルの開催・食生活改善推進協議会とのタイアップ事業					
開始年度	平成	年度	終了年度	平成	年度	根拠法令・要綱等

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.3	0.3	0.3
人件費合計(A)	2,160	2,160	2,160
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	222	222	222
委託料			
報償費	140	140	140
その他	82	82	82
合計(A+B)	2,382	2,382	2,382
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	2,382	2,382	2,382
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
健康啓発事業参加者	人	700	300	400			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
健康啓発事業参加者	市町村合併後、平成17年度は福祉センターとのタイアップ事業を実施したが、今後は保健センター独自の啓発事業の実施に向け取り組む	人	700 目標 ( 500 )	300	400
			目標 ( )		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

市町村合併により行政範囲が広くなり、市民啓発を兼ねる事業は統一が望ましいが、統一した事業への参加は交通事情等により悪く、イベント開催に関してもいろんな方面からの検討が必要である。
---

評価	必要性	4	今日健康がキーワードとなる時代に入り市民が健康で快適な生活を営むにはフェスティバル等を開催し、市民に意義等を理解いただく啓発が大切であるが、各支所同様の事業を統一すれば経費面は節減できるが、交通網が整備されておらず多くの市民の参加を得ることが難しい状況である。	総合評価 <b>A</b>
	有効性	4		
	達成度	3		
	効率性	3		